

ふれあいと感動の学校教育

経 営

学校・家庭・地域が連携して、活力ある学校経営を推進する

- ◎学習指導要領を遵守するとともに、学校運営協議会などを通して寄せられる保護者や地域の声を基に、学校や地域の特色等を生かした創意ある教育課程を編成・実施する。 □□
- ◎児童生徒の命を守り切ることを最優先に、一人一人の安全・安心の確保に向け、危機意識に基づいた全教職員による組織的な対応を行う。 □□
- 積極的な情報提供に努め、学校評価や児童生徒の実態等を学校経営や指導の改善に生かし、その状況を公表することにより、開かれた学校づくりを推進する。 □□
- 勤務の適正化、並びにコンプライアンス意識の向上に向けた取組を通して、働きがいのある学校づくりを推進する。 □□

大切にしたいこと

- ◆一人一人に「生きる力」（確かな学力・豊かな心・健やかな体）を育む指導を推進する。
- ◆学校の教育目標の具現に徹し、活力と規律ある開かれた学校経営を推進する。
- ◆各学校がその規模や地域性に合った魅力ある学校づくりを進める。
- ◆教師と子どもたち、保護者との信頼関係の構築を図る。

研 修

学校や自己の課題解決に向けた研修を通して、確かな指導力を身に付ける

- ◎教科指導力、学級経営力、ICT活用など、専門性の向上に資する研修や地域の特色や実情を踏まえた研修を積極的に行う。 □□
- ◎児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導力を高め、支援体制を充実させるための研修を行う。 □□
- 研修主事を中心とした教師の資質・能力の向上に向けた校内研修体制を整える。 □□
- 教員育成指標に基づいた教師一人一人の自己課題を明確にし、組織的・継続的な研修を行うとともに、研修を通して学んだ事項を積極的に還元する。 □□

「教科指導」「生徒指導」「キャリア教育」「特別支援教育」は重点領域 ◎印は重点内容

教科指導	主体的・対話的で深い学びの実現を目指して、基礎的・基本的な知識・技能を習得し、思考力・判断力・表現力及び自ら学ぶ意欲や態度を育てる
	○指導内容の系統や児童生徒の発達段階を踏まえて学力・学習状況を把握し、指導内容の重点化を図るとともに、個の学習状況に応じたきめ細かな指導、問題解決型の学習指導を充実する。 □□
	◎基礎的・基本的な知識・技能の習得を図り、思考力・判断力・表現力及び自ら学ぶ意欲や態度を育むためのICTの効果的な活用や小集団での学び合いを生かした指導を工夫する。 □□
	◎個別最適な学びや協働的な学びを実現するために、自己調整力や自己評価力を育成する指導を図る。 □□
	○外国語教育では、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ることができるよう指導方法の工夫改善を図り、積極的に実践する。 □□
道徳教育	自己を見つめる力と他を思いやる心を育てる
	○教育活動全体を通して道徳性が養われるよう、他の教育活動との関連を明確にした指導計画の工夫改善を図る。 □□
	◎道徳的価値の理解を自分との関わりで考えたり、多様な考え方や感じ方に接して多面的・多角的に考えたりして、主体的に自己の生き方についての考えを深める道徳科の授業を充実する。 □□
	○豊かな体験を通して道徳性が養われるよう、家庭や地域社会、小・中学校との連携を強化し、ふるさと教育や福祉的な活動の実践に取り組むなど、地域ぐるみの道徳教育を推進する。 □□
	◎「自己有用感」「生命尊重」「夢と希望」に関わる内容に重点を置き、道徳科の授業を要として「ぎふ いのちの教育」を推進する。 □□
総合的な学習の時間	探究的な学習を通して、よりよく問題を解決する資質・能力を育てる
	○育てようとする資質・能力及び態度、各教科等との関連を一層明確にし、課題意識が連続し発展するよう全体計画及び指導計画の工夫改善を図る。 □□
	◎体験活動と言語活動を意図的に設定し、探究的な学習を充実する。 □□
	○一人一人の学習状況や成果を把握し、指導・援助を充実する。 □□
特別活動	所属感を高め、よりよい生活や望ましい人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる
	○児童生徒の実態や発達段階を考慮し、自主的、実践的な活動を促すよう指導計画の工夫改善を図る。 □□
	○自己の活動や生き方を振り返り、新たな目標や課題がもてるよう指導と評価を工夫する。 □□
	◎学級の諸問題を解決する活動を通して、よりよい生活や望ましい人間関係が築けるよう学級経営を充実する。 □□
生徒指導	共感的な理解に徹し、望ましい人間関係の形成を図り、自己指導能力を育てる
	○児童生徒理解の深化を図り、生徒指導の基盤となる教師と児童生徒との信頼関係を築く。 □□
	○多様な背景をもつ児童生徒に対して、特性や家庭の状況、心情を踏まえた適切な支援に関係諸機関と連携して行う。 □□
	◎いじめの未然防止、早期発見、早期対応を組織的に進めるとともに、教育相談体制を充実する。 □□
	◎SOSの出し方や自分から相談できる力を身に付ける指導とともに、よりよい人間関係を形成しようとする児童生徒主体の活動を実施するなど、積極的な生徒指導の推進を図る。 □□

キャリア教育	社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育てる
	○キャリア教育について、全教職員の理解を深め、基礎的・汎用的能力の実態から育成すべき能力や態度を重点化し、小・中学校との連携を進め、全体計画、題材系統図の工夫改善を図る。 □□
	◎望ましい勤労観・職業観が育つよう、学級活動や総合的な学習の時間等との関連を図った体験活動等を意図的・計画的に位置付けるとともに、「キャリアパスポート」を活用した事前や事後の指導を充実する。 □□
	○一人一人が自己の能力・適性や多様な可能性を理解し、将来の夢や希望の実現に向けて自分のよさを生かし主体的に進路選択ができるよう指導・援助する。 □□
健康教育	運動に親しみ、進んで健康で安全な生活を営む態度を育てる
	○生活習慣や心身の健康状態、体力・運動能力、安全に対する意識・行動を的確に把握し、指導内容の明確化・重点化を図る。 □□
	○健康で安全に生き抜く力が育つよう、個に応じた指導を充実する。 □□
	◎児童生徒の健康・安全を守り切るために、学校と家庭、地域社会が連携し、感染症などの健康被害や事件事故及び自然災害による被害の未然防止に万全を期す。（危険予知訓練、命を守る訓練の工夫） □□
特別支援教育	一人一人の教育的ニーズに応じ、自立し社会参加するための基盤となる力を育てる
	○一人一人の教育的ニーズを正しく理解し、特別支援教育コーディネーターを中心に組織的に支援する。 □□
	◎保護者や関係諸機関との連携のもと、「個別的教育支援計画」及び「個別の指導計画」を作成・活用し、一貫した支援を行う中で、一人一人が能力や特性を発揮し主体的に活動できるよう、支援内容や指導方法・評価の工夫改善を図る。 □□
	○ねらいを明確にした交流及び共同学習を計画的・継続的に実施し、相互理解を深めるとともに、社会性や豊かな人間性を育むことができるよう指導する。 □□
人権教育	身近な人権問題に対する正しい認識と理解を深め、人間尊重の態度を育てる
	○全教育活動を通して「認識力」・「自己啓発力」・「行動力」を培うよう努める。 □□
	◎児童生徒一人一人の個性が尊重され、ともに助け合い、励まし合える好ましい人間関係を醸成する。 □□
	○家庭や地域社会等と連携し、正義感を尊重するなど人間尊重の精神の啓発を図る。 □□
福祉教育	思いやりと連帯の心を育てる
	◎ボランティア活動・福祉活動のねらいや価値を明確にし、他者を理解し思いやりの心を育む。 □□
	○学校間や家庭、地域社会、関係諸機関と連携し、地域に根付いたボランティア活動・福祉活動を推進する。 □□
子どもが快適に教育を受けられる環境の整備を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ◆施設・設備を整えて教育環境の向上を図る。 ◆子どもたちが自発的にやりたいことができる環境づくりを進める。 	